



# 福岡観世会定期能

令和三年(第二回)



能 狂言 能  
卷 まき 仏 ぶつ 頼 より

師 し 政 まさ  
神楽留 絹 ぎぬ 野村 万緑 観世 清和  
森本 哲郎



とき 5月16日(土) 午後1時始  
ところ 大濠公園能楽堂  
入場券 自由席 7,000円  
発売所 大濠公園能楽堂事務所  
092-715-2155

# 巻

# 頼

## 仏

## 政

観世 清和

難 波

仕 舞

菊本 澄代  
長宗 敦子  
木月 晶子

地謡

松田美栄子  
菊本 美貴  
今村 宮子  
多久島法子

飯田 清一

森田 徳和

野村 万禄

後見 坂口 貴信  
武田 宗和

地謡

井内 政徳  
今村嘉太郎  
坂口 信男  
角 寛次朗  
鷹尾 維教

△休憩十五分△

狂言

師

野村 万禄  
吉住 講

仕舞

清 経 久保誠一郎  
春日龍神 山口剛一郎

地謡

井内 政徳  
鷹尾 維教  
坂口 信男  
坂口 貴信

鶴之段 山本 章弘  
笹之段 角 寛次朗  
枕之段 武田 宗和

△休憩十五分△

能

今村 一夫  
森本 哲郎

白坂 保行  
幸 正佳

田中 達  
相原 一彦

間

吉住 講

小倉要二郎

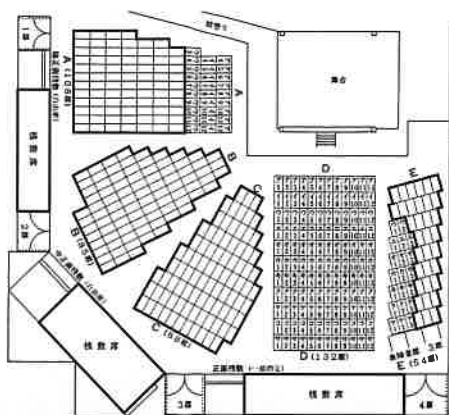
武富 昭

後見 山口剛一郎  
山本 章弘

地謡

関根 祥丸  
今村嘉太郎

今村 嘉伸  
多久島利之  
鷹尾 章弘



※番号が書かれていない席は自由席です ※棧敷席は自由席です

## 第二回予告

令和2年12月5日(土)午後1時始

能 通小町 多久島利之

能 狂言 佐渡狐 野村 万禄

能 三輪 坂口 貴信

### ◆頼政

よりまさ  
齢七十六にして、平家打倒の兵を挙げ、宇治平等院で自害した源三位頼政の物語です。

山城国宇治の里に立ち寄った僧に、楨の島や橘の小島、朝日山などの名所旧跡案内をし、最後に平等院へと誘った老人は、実は頼政の霊でした。平等院の釣殿の辺り、扇の形の芝の前で、老人は語り始めます。それを聞き衰れに思った僧が、経をあげ芝にて休んでいると、合戦の武者装束に頼政頭巾を被った法体の姿の頼政が現れます。

平家に敗れて奈良への途中お疲れの色濃い高倉帝のために平等院にて布陣したこと、宇治川を挟んだ攻防にて次第に敗戦の色濃くなる激しい戦い、今更にはもうこれまでも芝の上に扇を敷き座して読む辞世の句のことなど、床几にかかる頼政により、その様子がお客様の目の前の迫ってくる能の醍醐味を存分にお楽しみ下さい。

### ◆仏師

ぶっし  
御堂を建てた男が、本尊にする仏像を求めて、都へやってきました。仏師(仏像を彫る人)を探す男にすっぱ(詐欺師)が近づいて参ります。印相を表現する手指の形や、狂言面「乙」にもご注目ください。

### ◆巻絹・替装束

まきぎぬ  
熊野三社は特に約束事に厳しい神社です。それにもかかわらず、約束の期限に遅れた使者が和歌の徳によって許されるというのが、この能のお話です。

熊野三社に奉納する巻絹を担いだ男が、途中にある音無の天神でお参りし、思わずその見事な梅に感激し心中にて和歌を詠みます。しかしこの事により遅刻をしてしまい、責められ縛られることとなります。そこへ音無天神の憑依した巫女が現れ、男を救い出そうとします。

替装束の小書がつかますと、乗りうつられた巫女の装束ではなく、音無天神そのものといった感じになり、キリの盛り上がりも加わり、より神さびた演出になります。